



あき しょうぞう が 秋の肖像画

なんておかしな顔！ ぶどうの髪にかぼちゃの帽子。ちょっと熟れすぎたいちじくをきのこのこの耳にぶら下げて、洋梨の赤っ鼻にぷっくり膨れたりんごのほっぺ。もじゃもじゃの髭は麦でできています。でっぴり太った彼は、きっとグルメな食いしん坊に違いありません。おいしいお酒と、この肖像画にある秋の味覚が大好きなはずです。



この中には描かれていないディテールがあります。それはどれだかわかりますか？



他のページにも季節が描かれてる絵があります。どこのページでしょう？



絵がどっさり

なんてたくさんの絵！ あまりの数の多さに頭がくらくらしてきそう。

このほとんどの絵は、ローマの景色を描いたものです。

このとてつもなく大きなギャラリーの中で、絵や彫像たちは自分の居場所にまだ収まっていません。大きな目録を持ち集まっている高官たちは、これらの作品を飾る場所の話合いの最中なのかもしれませんね。

差し出されたデッサンを、座って注意深く模写している画家もいますよ。

■探してみましよう

花束2つ

噴水15基

馬にまたがる男

雲に乗る女

球

ライオン

青い衣服をまとった男5人

絵を描く男

コンパス

■このディテールも探してみ



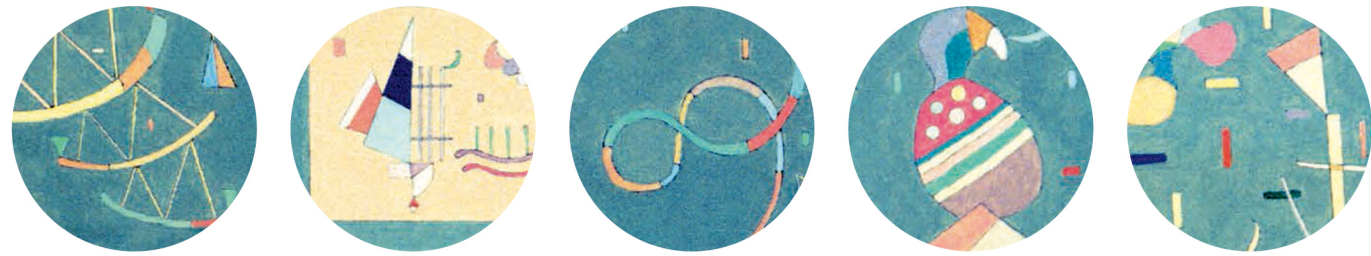
む そう 夢想

まっ青な空中を、ぼわんと漂う色とりどりの風船みたいな不思議な形。

これは何を表現しているのでしょうか？ 夢の世界？ それとも大花火？ きらめく世界での散歩？ どこかの国のお祭りの音楽？

もしかしたら、ここはサーカス小屋……？ 舞台の上で、ピエロ、軽業師、曲芸師、それから空中ブランコ乗り、踊り子たちの息をのむような演目が次から次へとつづいているかのよう。

大歓声とともに、紙吹雪のシャワーが舞い落ちてきているのかもしれない。



この中には描かれていないディテールがあります。それはどれだかわかりますか？

